

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成24年6月26日

施設名	高知県立人権啓発センター	所管課室	文化生活部人権課
-----	--------------	------	----------

1 施設の概要

指定管理者名	(財)高知県人権啓発センター	指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日
施設所在地	高知市本町4丁目1番37号		
事業内容	<p>1.施設利用に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用の許可等 ・施設利用の許可の取消し等その他の利用の許可に関する業務 (施設:ホール、視聴覚室、図書資料室兼閲覧室) <p>2.ホール使用料の徴収に関する業務</p> <p>3.施設および設備の維持・管理 清掃、警備、電気、設備の保守点検等</p>		
施設内容	<p>○面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p>面積:丸ノ内ビル(3,453.4㎡)内4F～6F(1,443.81㎡) 施設:4F 視聴覚室(定員48人)(利用前日までに申請) 5F 図書資料室兼閲覧室 6F ホール(定員270名)(利用10日前までに申請) 開館時間:9:00～17:00 休館日:土、日、祝祭日及び年末年始</p>		
職員体制	常勤職員:7人 非常勤職員:5人 臨時職員:1人 合計:13人 「職員数はH23年4月1日現在」		

2 収支の状況

単位:千円

		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)
収入	県支出金	10,305	10,091	11,267
	使用料・手数料	0	0	0
	その他	0	0	0
	収入計 (a)	10,305	10,091	11,267
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	10,005	9,757	10,931
	人件費	300	334	336
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	10,305	10,091	11,267
収支差額 (a)-(b)		0	0	0

3 利用状況

	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	20,708	21,063	21,000
②利用者意見等の反映	○アンケート内容の見直し後、平成22年2月からホールを利用した会議等の主催者を対象にアンケートを実施。(27件発送、回答7件) ○ワイヤレスシステム機器の取替。		

4 平成23年度業務評価

項目	状況説明																
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> 基本協定書に基づき適正に管理運営されている。 平成19年度は災害発生に備えて、消防計画の見直の変更、平成20年度は、消防の査察により防火管理、警報設備について指導を受け、平成22年2月、平成23年3月、平成24年2月と消防訓練を実施している。 個人情報の保護については、(財)高知県人権啓発センター個人情報保護要綱等を設けるとともに、これに基づき適正に執行している。 再生紙購入等「高知県グリーン購入基本方針」に基づく環境物品購入を実施している。 片面使用コピー用紙の裏面を使用するなど経費削減に努めている。 平成23年度から「高知県庁マネジメントシステム」に取り組んでいる。 地震対策マニュアルの作成は、ビルの管理者である(社福)高知県社会福祉協議会との協議にとどまっている。 																
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度からAEDを設置、職員は「救命救急講習」を受講し救命救急の知識や技術、AED操作を習得しており、センター利用者の緊急時に対応できるよう努めている。 また、日々の点検確認やAEDの電池交換も行われている。 ホール利用についてはホームページ上に申請書や予約状況を掲載。予約状況については随時更新するなど利用者へのサービスが伺える。 会場を定期的に利用している団体が複数あり、利用者サービスが維持出来ているものと思われる。 																
③利用実績	利用人員(利用回数)の年度推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6Fホール</td> <td>20,797人(150回)</td> <td>19,357人(150回)</td> <td>19,870人(158回)</td> </tr> <tr> <td>視聴覚室</td> <td>807人(45回)</td> <td>792人(33回)</td> <td>673人(30回)</td> </tr> <tr> <td>ライブラリー</td> <td>670人</td> <td>559人</td> <td>520人</td> </tr> </tbody> </table> 前年と同程度の利用者数となり、利用案内等の一定の成果が見られる。		平成21年度	平成22年度	平成23年度	6Fホール	20,797人(150回)	19,357人(150回)	19,870人(158回)	視聴覚室	807人(45回)	792人(33回)	673人(30回)	ライブラリー	670人	559人	520人
	平成21年度	平成22年度	平成23年度														
6Fホール	20,797人(150回)	19,357人(150回)	19,870人(158回)														
視聴覚室	807人(45回)	792人(33回)	673人(30回)														
ライブラリー	670人	559人	520人														
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> 昨年と比較して213千円支出が減少している。支出金額減少の主な原因は県社協への負担金(人件費)が減少したことによるが、光熱水費については、前年度に比較して38千円の減となるなど、指定管理者の経費削減への努力が伺える。 県より収納委託を受けている施設使用料については、昨年と比較して29千円の増収となっている。(ホール使用料:平成21年度2,767千円、平成22年度2,814千円、平成23年度2,843千円) 																
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設利用者(回)数についてはホール、視聴覚室、ライブラリーにおいて効果的、効率的な広告の継続により一定数が保たれた。 施設管理においては丸ノ内ビルの管理者である(社福)高知県社会福祉協議会と連携をとりながら、仕様書どおりの業務が遂行された。 経理状況については、利用者サービスに直結する、ホール音響設備老朽化による更新、施設設備等の軽微な修繕、会場設営等は出費増となった。 利用者へのサービスについては、平成22年度にアンケート内容の見直しを行い、会議等の主催者を対象に利用許可証発送時にアンケート用紙を同封した。 <p>以上のことから、おおむね仕様書の内容どおりに適正な管理が行われたと認められる。</p>																

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの